

2020年11月13日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

シバウラ防災製作所を日本フェンオールに譲渡

ニューホライズンキャピタル株式会社(本社 東京都港区、代表取締役会長 安東 泰志、以下「当社」)が運営するニューホライズン 2号投資事業有限責任組合(以下、「NH2」)は、本日、株式会社シバウラ防災製作所(本社 長野県松本市、代表取締役社長 柳澤 顕正、以下「シバウラ防災製作所」)の全株式を、日本フェンオール株式会社(本社 東京都千代田区、代表取締役社長 田原 仁志、以下「日本フェンオール」)に譲渡することを決定し、株式譲渡契約を締結いたしましたのでお知らせします。株式の譲渡は2021年1月5日に実行される予定です。

当社は、株式会社IHIの100%子会社である株式会社IHIシバウラ(現「株式会社IHIアグリテック」)より防災事業を譲り受け、当該事業を中核として設立されたシバウラ防災製作所の経営体制・事業運営体制の構築支援を行ってまいりました。また、組織体制の強化に加え、アジア新興国を始めとする海外営業の強化など、収益性向上施策を支援することでシバウラ防災製作所の成長を促進してまいりました。

シバウラ防災製作所が日本フェンオールのグループに参画することで、両社の事業基盤の連携・補完が実現し、防災・消防分野におけるより付加価値の高いサービスの提供、同分野における国内外販売網の強化につながることから、日本フェンオールはシバウラ防災製作所の持続的な成長が期待できる最適な相手であると判断し、今回の譲渡を決定いたしました。

〈ニューホライズン キャピタル株式会社〉

事業承継、カーブアウト、成長支援等のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から2006年10月の会社分割を経て通算18年超の実績(独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,700億円超)を誇る。現在は、NHCとして3本目、創業から9本目のファンドを運営中。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン(主運用責任者)をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iaeホールディングス、たち吉、武田産業、GENEROSITY、シバウラ防災製作所、川崎ホールディングス、昭和コーポレーション、かがやくコスメ、ウッドテック、NITTO、日本システムケア、岩田産業など、開示可能なエクイティー投資先だけで約40社、全体では100社超の日本随一の投資実績を有しています。

この件に関する問い合わせ先:

広報担当(IFC)竹江、高杉 連絡先:03-5532-8921